

## 一般質問通告書

受領日時 令和 7年11月26日 (午前・午後10時16分 7番 氏名 石川 重光)

質問項目	質問の要旨
1 4.5の施策推進について	<p>(1) 公約に掲げた5本の柱と4.5の施策について、限られた期間の中でこれら4.5の施策の展開は可能か。</p> <p>町長就任から間もなく10ヶ月になるが、5本の柱と4.5の施策は町民に示されたのか。</p> <p>(2) 町民と町(町長・行政担当者等)が直接対話し、意見交換を行い町民の声(地域の課題や町民のニーズ)を町の政策や運営に反映させる町政座談会の開催が必要。町長は、開催の必要性をどう捉えているか。</p> <p>町民の声が町政に反映され、町民と行政が一体となって町づくりに取り組む、その姿勢があつてはじめて強い町づくりにつながると言える。</p> <p>(3) 令和8年度予算編成の準備作業に入っている頃と想定される。施策推進に伴う政策的な予算編成に取り組むことになるが、経常経費が大きなウエイトを占める財政状況にあって予算の確保は厳しい。その中であっても施策推進は重要なこと。町長はどう進めるか。</p>
2 街路灯整備によるクマ被害対策を	<p>(1) 本町におけるクマの目撃情報はここ数年において増加の一途にある。人や車を恐れずにエサを求めて市街地に出没するアーバンベア(都市型クマ)が増加。</p> <p>誘引樹木の伐採や箱罠の設置による駆除、町民への注意喚起など、町の対策にもかかわらず頻繁なクマの出没情報に加え、人身被害も発生している。今後どのようなクマ対策を実施していくのか。</p> <p>(2) クマの出没は日の出や日没前後の活動が活発である。薄暮の頃から活動する。その時間帯の外出を控える町民も少なくない。クマの出没による被害は人身被害や農作物被害の他、人の生活圏に近づくことによって飲食店などへの経済的な被害にまで及んでいる。</p> <p>暗闇から突然クマが現れるのではないか、町民はあたりに警戒心を高めながら不安な生活をおくっている。街路灯の整備(明るくする、街路灯の増設等)により生活空間を明るくし、ク</p>

	マ等の所在を視認し被害の回避をするべき。防犯を含めた安全な生活空間が保たれるよう図るべき。
--	---